

**鎌倉ハイランド自治会における
ごみ減量プロジェクトと
生ごみ処理機100台普及運動**

2014年8月29日
鎌倉ハイランド自治会
高橋 巖
富樫 和也
山下 保子

昨年8月に環境厚生部の中に「ごみ削減プロジェクト」を立ち上げ、11月に自治会として「生ごみ処理機100台普及運動」を推進することを決定。今年4月初めに100台を達成。

1. 鎌倉ハイランド自治会の紹介
2. ごみ削減プロジェクトの経緯
3. 生ごみ処理機100台普及運動
4. 成功要因と今後の予定
5. 要望

鎌倉ハイランド自治会の紹介

- 約40年前 西武不動産により開発された住宅街
- 昭和51年（1976年） 自治会設立総会
- 当初は若い家族100戸ばかりの新興住宅地
- 会社務めの若いお父さん達が帰宅後ネクタイ姿で、
毎夜遅くまで自治会の仕事を
- それから40数年経ち高齢化が進む（現在47%）
- 会員の構成は浄明寺6丁目と十二所967番地の約500世帯
- お隣り・・・十二所町内会、浄明寺町内会、逗子ハイランド自治会

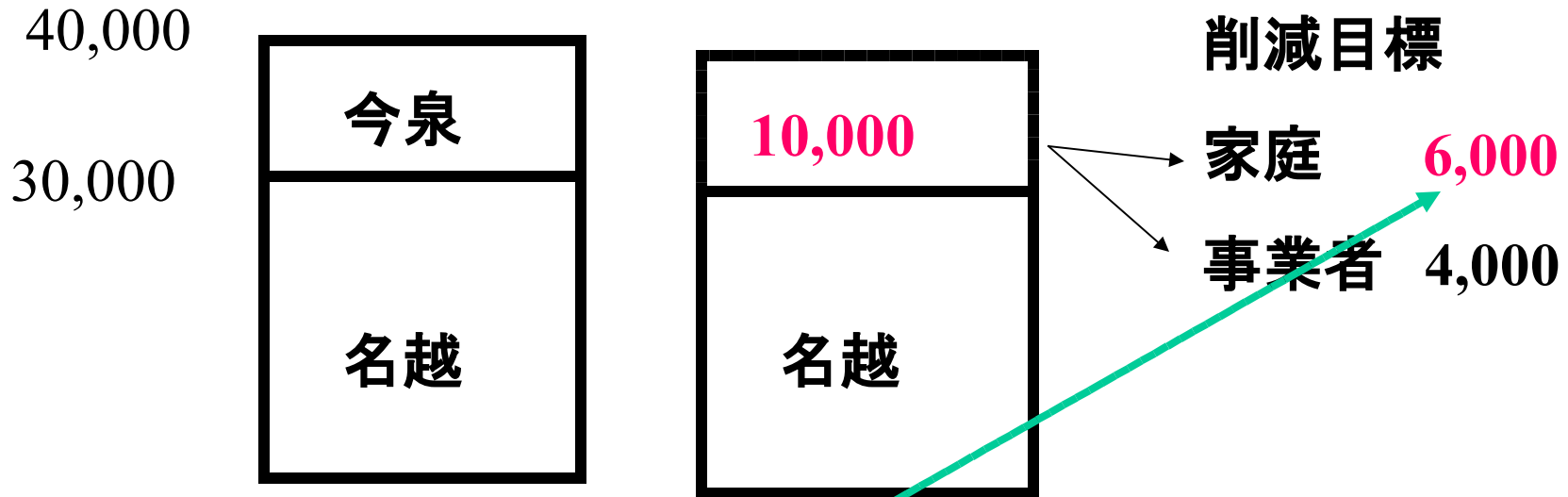
鎌倉ハイランド自治会の紹介

(非公開情報を削除しました)

ごみ削減プロジェクトの経緯

- 4月 25年度の環境厚生部発足（部長、幹事3名とも新任）
- 5月 鎌倉市のごみ焼却の現状を知る。（3R推進員から）
- 6月 **名越クリーンセンター見学**。ごみ削減の効果測定方法？
- 6月 資源循環課を訪問。生ごみ処理機の現状を聞き、実物を
0.533kg/day , 12,000t , 6,000t などの基本数値を理解した
- 7月 環境厚生部の4人で議論し、生ごみ半減できれば名越だけでもOKという認識。**エバンジェリスト登場**
- 8月 プロジェクト発足（目標設定と期限設定）と**実験開始**
資源循環課によるキエーロ説明&実演。（幹事会）
- 11月 第一回評価会議
- 11月 生ごみ処理機100台普及運動 スタート
- 4月 目標達成を見届けプロジェクト解散、次年度幹事に引継ぎ

燃やすことのできるゴミの量



家庭から出る“燃やすゴミ”の量



実物

鎌倉ハイランド自治会 ごみ削減プロジェクト企画書

(8月1日—3月31日)

1. 生ごみ処理機の使用実験

3ヶ月間生ごみ処理機を使用し効果を評価

20世帯の賛同者募集(購入費、設置作業、使用、評価会議への参加の負担有り)

「キエーロ」を中心にH25補助対象機種を共同購入し使用し評価する

環境厚生部と鎌倉市環境部が共同でサポート(設置、Q/A、苦情、評価)

12月に報告書

2. 生ごみ処理機の普及促進

実験を踏まえ年度内に100世帯の普及を目指す

3. 評価会議とワークショップの開催

8月、11月、3月

自治会員、自治会環境厚生部、鎌倉市環境部で開催

効果測定方法は市と相談要

4. ごみ削減ワンポイントアドバイス

毎月、自治会便りに出稿。3月に1冊のパンフレットにする。

ごみ削減プロジェクト

- 20世帯の賛同者を募り
(自己負担での購入、設置場所の確保、毎日使い、評価)
- 「キエーロ」などの非電動型生ごみ処理機をまとめて購入し、
- 3ヶ月使ってもらい
- 評価会議で判定し
- 合格ならば年度内に100台に拡大する

プロジェクトメンバーの役割

- (A) 市との窓口、市への申請代行、記録
- (B) キエーロのエバンジェリスト
- (C) 口コミで賛同者を20人集める
- (D) 受領書を家に届ける、掲示板、幹部会・幹事会報告

実験が終了する
10月末になっても29台

何か手を打たねば

プロジェクトの打ち合わせ

1. 評価会議（11月7日）

- ◇ 購入者、様子見者に集ってもらい（15－20人）
- ◇ 茶菓子つきで会話を楽しむ
- ◇ 集客は購入者へのポスティング、掲示板？
- ◇ 購入者には経験談を、様子見者には質問を話してもらう
- ◇ 拡大を目指すかどうかを多数決で決める

2. 会長書簡と組長への協力依頼

会長に激を飛ばしてもらい、組長に申込者と環境厚生部の間に入ってもらう

3. 文化祭

写真、メリットを強調したポスター、キャッチフレーズ等 を展示

4. 自治会便り

評価会議の結果と拡大策ならびにQ/A集を載せる

5. キャッチフレーズ(例)

「生ごみは燃やすなんてもったいない」

「生ごみは貴重な資源、捨てるなんて」

「キエーロは小さな温室、よく育つ」

「黒土のにおいかぐわしキエーロの知らず知らずのエコぞ楽しや」

「エコライフとはこんな事かとキエーロ三昧」

強化策

評価会議を成功させる

招待状

茶菓子つき

拡大するかどうかを多数決で決める

会長書簡を出し、組長も巻き込んだ総力戦で

文化祭へ急遽出展

自治会便りに評価会議の内容とQ/A集を載せる

キャッチフレーズ

- あの手この手で集客したが当日は雨が、
- 何人集まってもらえるか？ 開始10分前でゼロ人。
- しかし定刻には補助席を追加し30人規模の会議になった。
。

ポステイング

招待状

〔キエーロ〕を中心とした生ごみ処理機の 体験情報交換会へのご招待

この度はキエーロ等の生ごみ処理機の体験プロジェクトにご参加いただき大変有難うございます。おかげさまで参加者が40名近くになり環境厚生部として非常にうれしく思っています。皆様方のエコへの取り組みに改めて敬意を表したいと思えます。

そこで皆様方への感謝の意味も込めて懇談会を企画しました。キエーロ等の体験談を交換しながら、また素晴らしい特別講演を聴きながら楽しいひと時を過ごしていただければと思います。

日時 11月7日(木) 10時—12時
会場 自治会館 1階 会議室

平成25年10月
鎌倉ハイランド自治会
環境厚生部 高橋 巖

多くのご意見を頂いた 不都合な点も多々あったが

- 節電になる。罪悪感から開放された
- スイッチを入れたまま外出しづらい。
- 土の消化力に感動した
- 電動型は止めてキエーロだけにした
- 子供の教育に良い
- ステーションまで行かなくて良い
- 年末年始のごみ収集を気にしなくて良い
- 生ごみ半減する。80%減る
- 自然のリサイクルを実行している満足感
- みんなで取り組むと楽しい。
- 隣近所との会話がはずむ
- 自然の力で生ごみが消えることが実感できた
- バクテリアはペットのよう
- 生ごみは行政ではなく個人の領域
- キエーロ友の会を作ってほしい

特に勇気付けられたのは

毎朝おはようと声をかけている

全戸に拡大すべき

楽しい

生ごみ処理機100台普及運動スタート

- 11月 会長書簡 「生ごみ処理機100台普及運動」
- 11月 幹事組長会議で承認
全組長による戸別キャンペーンを実施
- 11月 文化祭にキエーロ・コーナー。
紹介パネルと実物を展示し、質問に答えた
- 11月 市からの紹介で神奈川新聞から取材を受け記事に。
- 11月 キエーロ実物の常設 自治会館入り口に申込書
- 3月 第2回 評価会議

生ゴミ処理機100台普及運動

鎌倉ハイランド自治会では11月の幹事会・組長会で生ゴミ処理機を普及させることを決定しました。今年度は100台を目指します。

鎌倉市のゴミ焼却問題の解決に非常に有効です。

エコライフを楽しみながら、鎌倉ハイランドはこれにチャレンジします。

鎌倉市の90%補助制度を活用し、1,500円ぽっきりで、エコライフが楽しめます。

申し込み方法は、組長さんがお持ちの申込書に記入し1,500円を添えて**組長さん**にお出してください。

自治会館の玄関にも申込書と処理機のパンフレットが置いてあります。

一緒にエコライフを楽しみましょう !!!

神奈川県新聞に掲載されました。

神奈川県新聞の遠藤記者が取材に来られ、11月26日の神奈川県新聞に生ごみ処理機「キエーロ」への取り組みが紹介されました。

掲示板

「楽しい」と思えたら…………という見出し

恐るべしキエーロ
自分も日当たりの
良い家を買って ……………と結んでいます。

鎌倉ハイランドはエコ・タウン !!!

第2回 評価会議

- 前回同様約30人の参加者によるにぎやかな情報交換会
- 廃棄する生ごみが半分以下になったとの評価。
- 次年度も引き続き開催すること
- キエー口倶楽部的なものの創設の要望。
- 米ぬかを出席者に配布（寒くなりバクテリアの動き緩慢）
- もっとモダンなものがほしい
- ごみは主人の仕事になった
- 花がこんなにきれいになった。
- 実を付けたことの無かった木に実がなった

成功要因

目標を明確にし、期間を設定した。

環境にやさしく経済的な「ベランダdeキエーロ」に絞った
申込みの手間を省き、翌日には受領書を家庭に届けた
エバンジェリストが徹夜して書き上げた名文に感動して
トラブルの電話があれば土砂降りの雨でも駆けつけた
評価会議での議論など、みんなで取り組むことの安心

オピニオンリーダーの存在（評価会議で、ブログで）

環境問題に取り組んでいるという充実感

ベランダdeキエーロのエコなデザイン。庭に映える。

キエーロの世話が楽しいという一面が

生ごみが激減することを実感できた

「毎朝お早うと声をかけている」といった盛り上がり

神奈川新聞の取材記事

市からの補助

楽しいという評価が一番の決め手²⁰

今後の予定

1. 評価会議の継続
2. 出来た土の有効活用
3. キエー口友の会立ち上げ

課題

1. 虫がわく
2. 土を攪拌するのがきつい

要望

キエー口で熟成した土の審査を日大農学部かフラワーセンターと共同で行う仕組みを作ってもらえないか。

キエー口で熟成した土の有効活用を企画する。

(例) キエー口活用講座

家計にも◎、お花にも◎、市役所にも◎な生
ごみ処理機をさらにPR。 関
心は高まっているので申し込み易く。

ご静聴有難うございました

鎌倉ハイランド自治会

会長 高橋 巖

ご参考

プロジェクト・マネジメント技法

- 目標
- スケジュール管理
- 計画 (Where we go / Where we are / Gap)
- リスク管理
- ステークホルダー

成功要因を逆説的に

もし電動型にしていたら

もし申し込んだ翌日に領収書を届けなかったら

もし評価会議を開催していなかったら

もしエバンジェリストが徹夜していなかったら

もしオピニオンリーダーがいなかったら

もし市の補助が無かったら

もし楽しいという声が出なかったら

キエーロが

教えてくれる

エコライフとは

こんな事よと

黒土の

においかぐわし

キエーロの

知らず知らずの

エコぞ楽しめ

キエーロは

小さな温室

すくすく

芽を出す

カボチャかな

燃やすなんて

もったいない

生ゴミは

我が家の貴重な

資源



イタリア ナポリ

--- 物質の大循環で生命はつながっている ---

微生物の活動が地球を支える。

- ◆ 46億年前に誕生した地球。
- ◆ 約40億年ほど前に最初の生命体が生まれた。それが微生物。

緑の地球は微生物がつくり、
微生物が守っている

- ◆ 酸素を最初につくったのは、光合成をする微生物
- ◆ 酸素のおかげで出来たオゾン層に守られて生命は海から陸へ上がることが可能になった。
- ◆ 微生物が生まれなければ、今でも地球は海と岩だけの星だった。
- ◆ 微生物も陸へあがり、土の中で植物の成長を支えた。

土の中で微生物は生き、生態系のバランスは保たれる

- ◆ 土の中では微生物を含めた生命の循環が行われている。
- ◆ この循環がスムーズに流れている土が、いい土となる。
- ◆ よりよい環境の鍵をにぎっているのが微生物。

キエー口の冬対策

- ◆ 35度cー60度cの範囲で温度を一定に保つ
 - 米ぬかを大量に入れ、かき混ぜる(大型レジ袋一杯)
 - 落ち葉をかぶせる
- ◆ ためてから入れるのではなく、小まめに入れる
 - 有機物とバクテリアの戦いだから
- ◆ 良くかき混ぜて、通気性をよくする
 - 臭い嫌気性細菌を排除するため
- ◆ 塊は砕く
- ◆ 乾燥しすぎない。乾燥したら水を少々

いい土は、しっかりしていて軽い

- ◆ いい土というのは、微生物が活発に活動している土のこと。
- ◆ 空気や水分が適度に含まれ、
- ◆ パンみたいな弾力があります。

微生物は土中の有機物を分解

土を肥やすために有機物を投入するのは微生物の力を借りるため

枯れかかった松が、3カ月で元気に・・・